

態度の指導方法 設定例

学年	種目	公正	責任	参画	協力	健康安全
1	バレー	ルールを守ったり、相手を励ましたり、賞賛した自分の行動を個人カードに記入		グループで話し合いをする上で気をつけるべきことは何かを考える場面の設定	チームの課題を確認し、与えられた時間内に全員で協力して練習に取り組む場面設定	起こりうる事故や怪我などを例示し、安全に活動するための約束事を決める
1	陸上	個々の得意な部分を見出し認めていけるようにする場面の設定	ゲームの中で自分のポジションの役割を明確にする場面の設定	記録が伸びるためにどのようにすればよいかを話し合う場面の設定	できる者ができない者にどのような声かけをすることでまたできない者ができる者にどのように声かけをすれば互いに上達するかの場面の設定	用具の配置、管理など想定されるけがや事故に対してどのような管理をすることが良いか考える場面の設定及び実践
2	サッカー	ルールを再度学ばせ守ること、ミスをかバーできるようまたミスを互いに認める行動はどういうことか考える場面の設定	ゲームの中で自分のポジションの役割を明確にする場面の設定	審判・得点係・ボール拾い・タイムキーパー・用具セットなどどのようにゲームを運営するか話し合う場面の設定	OF・DF とともにホワイトボードを活用して、チームの戦術に対しての自分の役割を話し合う場面の設定	用具の配置、管理など想定されるけがや事故に対してどのような管理をすることが良いか考える場面の設定及び実践
2	バレーボール	ルールをしっかりと守る、チームメイトのためにどのような言葉かけができるか具体例を挙げて意識させゲームの中で発信する場面の設定	ゲームの中で各チームがチームとしてできていることできていないことを選別させ、その中で自分が携われることはないか話し合う場面の設定		ボールをさわる前の言葉かけを二つに分類した。「意思表示の言葉」と「チームメイトにかける言葉」の中で協力する意識を高める。	バレーボールにおいてはネット際の危険が多く、その具体例を挙げ自分のボールが使用するボールの管理や怪我をしない練習環境作り。
2	テニス		ゲームの中で、各個人が与えられた役割を果たすことで、どのような効果が現れたかをカードに記入する		グループ内で課題を確認し、互いに教え合う場面設定	起こりうる事故や怪我などを考え、安全に活動するための約束事を考えたり、確認したりする場面の設定
2	卓球		ゲームの中で、各個人が与えられた役割を果たすことで、どのような効果が現れたかをカードに記入する		グループ内で課題を確認し、互いに教え合う場面設定	起こりうる事故や怪我などを考え、安全に活動するための約束事を考えたり、確認したりする場面の設定
3	バスケット	ルールを再度学ばせ守ること、ミスをかバーできるようまたミスを互いに認める行動はどういうことか考える授業	ゲームの中で自分のポジションの役割を明確にしてどうプレーするか考える授業	審判・得点係・タイムキーパー・用具セットなどどのようにゲームを運営するか考える授業	OF・DF とともにホワイトボードを活用して、チームの戦術に対しての自分の役割を考えさせる授業	用具の配置・ボールの管理など想定されるけがや事故に対してどのような管理をすることが良いか考える授業
3	ラグビー	ルールの遵守、相手を尊重することとはどういう行動なのかを考える場面の設定	ゲームの場面で、個人の役割に対してどのような行動をするのかをチームで話し合う場面の設定	競技会をどのように運営するか合意形成を図る場面の設定	チームでの練習に設定された時間内に協力してチームの目標を達成させるための練習計画を立て実行する場面設定	起こりそうな危険な場面の想定及びケガ等が起こらないためにどのような方法があるのかを考える場面の設定